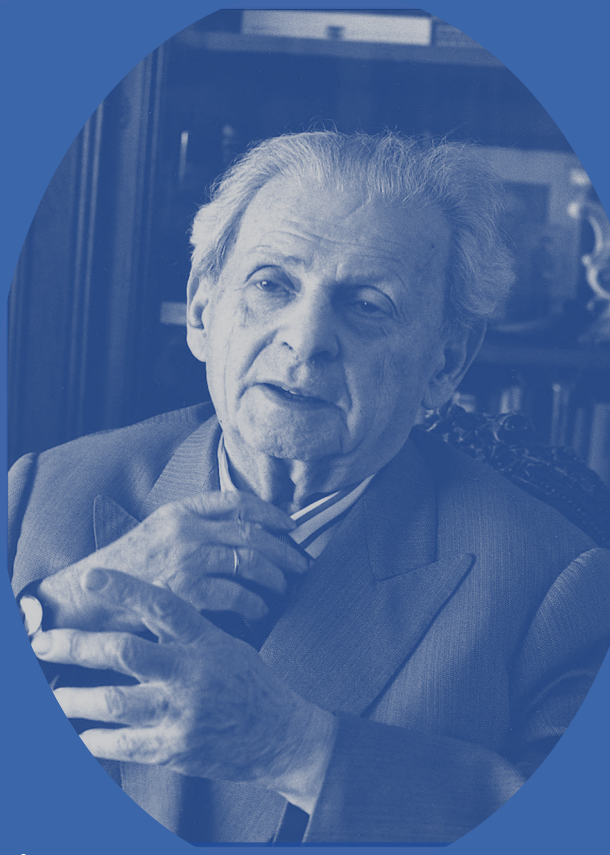
レヴィナス『存在するとは別の仕方で』刊行50年
リオタール生誕100年記念国際シンポジウム

多島海・漂泊 — 別の仕方で



日時
2024年7月13日（土）
10時30分-18時30分

場所
明治大学駿河台キャンパス
グローバルフロント1階
グローバルホール

参加自由・登録不要

プログラム

10:30-11:30
合田 正人（明治大学）
存在／他者と顔／形象　レヴィナス―リオタール「ヒューマニズム論争」から
越門 勝彦（明治大学）
「責任の限界」をめぐる問い

13:00-14:40
ティエリー・オケ（パリ・ナンテール大学）
脱植民地のプリズムを通したリオタール／レヴィナス
フランソワ＝ダヴィッド・セバー（パリ・ナンテール大学）
リオタールと、レヴィナスなき顔

14:50-16:50
星野 太（東京大学）
政治的であるのとは別の仕方で
リオタールにおける両義的な言葉
本間 邦雄（駿河台大学名誉教授）
リオタールと『正法眼蔵』

17:00-17:30
渡名喜 庸哲（立教大学）
レヴィナスとリオタール：交差する争点

17:30-18:30　**全体討議**

主催：MIPs（Meiji Institute of Philosophies）、佐藤達夫教育研究振興資金（明治大学文学部）
使用言語：日本語・フランス語・英語（＊仏語講演には翻訳原稿を配布し、質疑・討議には適宜通訳がつきます）
お問合せ：合田正人（明治大学：mg1957@meiji.ac.jp）